

デジタルロードセル用シミュレータ AD-4389

概要

- AD-4389 は弊社製デジタルロードセルと同等の動作を行うデジタルロードセル用シミュレータです。
- AD-4389 を用いる事によりデジタルロードセル対応のウェイト・インジケータやトラックスケール(以降:指示計)に分銅を用いないで擬似的な質量値を供給する事が可能です。

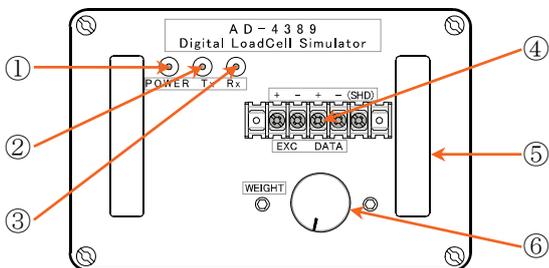
注意事項

- ⚠ 通電中は端子に触れないでください。事故や故障の原因になります。
- ⚡ 分解したり、修理、改造はしないでください。事故や故障の原因になります。
- ⊖ 設置、配線は必ず電源を切って行ってください。
- ⚠ 落下により稀に物的損害や怪我を負う恐れがあります。取扱いにはご注意ください。
- ❗ 接続する機器の信号ピンの入出力仕様をご確認の上、接続してください。また、接続先は弊社製指示計のデジタルロードセル入力端子となります。

梱包内容

- 本体 1
- 端子カバー : ML-250-3C-7P (SATO PARTS CO., LTD.) 1
- 本書(取扱説明書) 1

各部の名称とはたらき



端子に使用されている 3M のネジに適した圧着端子を使用してください。推奨品 : V1.25-B3A (JST Mfg. Co., Ltd.)

各部の名称	はたらき
① 電源表示	電源が投入されると点灯(緑色)します。
② 送信表示	データ送信中に点滅(赤色)します。
③ 受信表示	データ受信中に点滅(赤色)します。
④ 端子	指示計のデジタルロードセル入力(接続)端子と接続します。
⑤ ハンドル	持ち運びに使用します。
⑥ 出力調整つまみ	質量値の値を調整します。

端子の名称	はたらき	と ケーブルの推奨配線色
⑦ EXC +	電源+ (入力 +)	赤
⑧ EXC -	電源- (入力 -)	白
⑨ DATA +	データ+ (RS-485 +)	緑
⑩ DATA -	データ- (RS-485 -)	青
⑪ (SHD)	シールド (本筐体と接続)	黄

操作方法

- 端子の接続
入出力仕様を確認して、指示計と AD-4389 を直接接続してください。
- 出力調整
出力調整つまみを回す事で質量値を変化させます。

出力について

- 通常出力変化
 - つまみを左一杯に回した状態を 0 回転として、2 回転回した所で、0.0kg となり、8 回転回した所で、40000.0kg になります。



- 下記の出力変化を行った場合でも、電源を入れ直すと通常出力変化に戻ります。

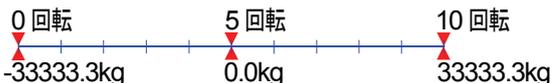
■ 負極性の出力変化に変更する方法

- 手順1 電源を入れる前につまみを左一杯(0 回転)に回します。
- 手順2 手順3 の動作を 20 秒以内に終わらせます。
- 手順3 電源を入れて約 2 秒間待ち、つまみを右一杯に回転させ(10 回転)、すぐに左一杯までつまみの位置を戻します。



■ 両極性の出力変化に変更する方法 0.0kg=真中(5 回転)

- 手順1 電源を入れる前につまみを左一杯(0 回転)に回します。
- 手順2 手順3 の動作を 20 秒以内に終わらせます。
- 手順3 電源を入れて約 2 秒間待ち、つまみを右一杯に回転させ(10 回転)、すぐに 5 回転戻します。



通信の注記

- 1~247 のスレーブアドレス(機器番号)すべてに応答し、アドレス指定はできません。また、シリアル番号もありません。
- 指示計と AD-4389 を 1 対 1 で接続してください。

仕様

項目	仕様
電源	DC 6V~12V
通信プロトコル	Modbus(RTU)
通信方式	EIA RS-485 準拠
データ/パリティ/ストップビット長	8ビット/偶数/1ビット(固定)
通信速度	38400bps(固定)
外形寸法 W/H/D (mm)	150 / 110 / 100(突起含む)
ケースの材質 / 色	アルミダイキャスト / グレー
ハンドル / つまみの材質	アルミ
質量	約 1.1kg